第6講

小論文を紡ぐ手順（4）

段落構成を「考える」

チャプター1

レクチャー

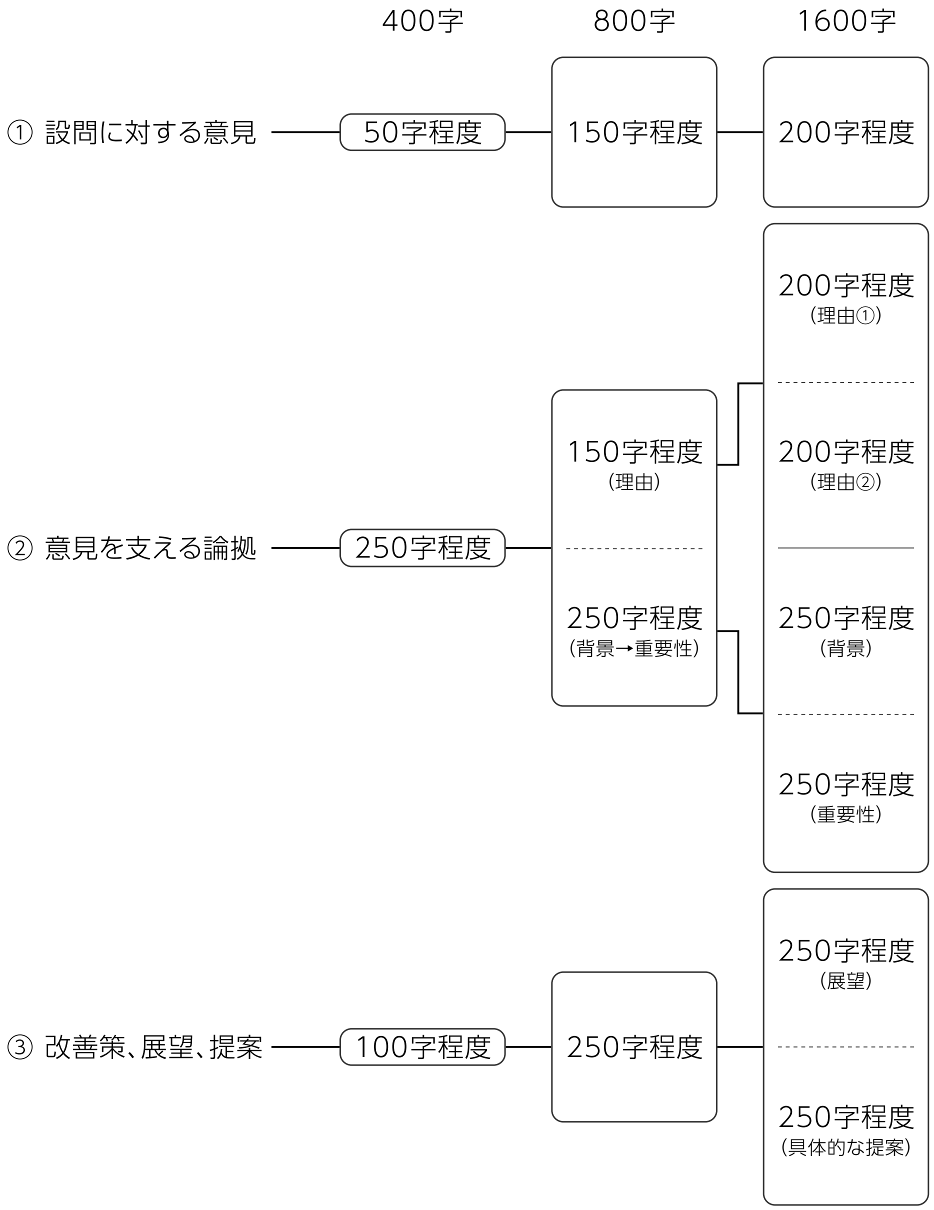
ポイント

段落構成のパターンはいくつかあるが、
基本は「①（　　　　　　　　　　）」「②（　　　　　　　　　　）」
「③（　　　　　　　　　　）」でよい。
ひと段落あたり（　　　　　　　　　　）字から（　　　　　　　　　　）字程度を目安にして、段落数を決定する。
段落数に応じて「①（　　　　　　　　　　）」「②（　　　　　　　　　　）」
「③（　　　　　　　　　　）」を配置する。
字数が少ない論述の場合は段落を無理に分けなくてもよい。
（　　　　　　　　　　）に指示があるので従うこと。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 段落構成の例


400字
800字
1600字
① 設問に対する意見
50字程度
150字程度
200字程度
② 意見を支える論拠
250字程度
150字程度
（理由）
250字程度
（背景→重要性）
200字程度
（理由①）
200字程度
（理由②）
250字程度
（背景）
250字程度
（重要性）
③ 改善策、展望、提案
100字程度
250字程度
250字程度
（展望）
250字程度
（具体的な提案）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　ソーシャルメディアが人々の生活や社会に及ぼす影響について、あなたの考えを400字以内で述べてください。

（亀田医療大学　看護学部　看護学科　推薦　2017　改題）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
意見（主張）	設問と意見の関係	S　A　B　C　F
	独自性・独創性・発展性	S　A　B　C　F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S　A　B　C　F
	重要性・問題性	S　A　B　C　F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私達の生活において身近な存在となっているスマートフォンは、正にソーシャルメディアであるといえる。様々な情報が溢れていて、容易に情報を得られるが、それらには規制がないため、何が正しくて何が間違っているのかの取捨選択が重要な鍵となってくる。

　例えば、ある症状が気になり疾病の疑いを感じた時、検索して情報を得るだろう。そこには情報が最新か、正確かを見分ける能力が必要となってくる。その際に、果たしてそこまでの能力を持ち合わせているだろうかということが問題になってくる。判断できなければ、間違った方法を試みることもあり得るということだ。

　よって医療や健康の適切な情報を提供し、適切に活用されるように働きかけることが必要となる。病気になってからの事だけでなく、その前段階の病気の予防、健康維持、増進に働きかけることができるのも、またソーシャルメディアのなせることだと考える。

(397字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　ソーシャルメディアは不特定多数への情報発信を可能にした。スマートフォンでの利用が多いためか、情報伝播のスピードが一層増してきたといえる。ソーシャルメディア独自の問題として、内容の正確さや表現を確認せずに発信する誤情報の「拡散」や、意見や行動を批判する「炎上」が起きている。また、発信した情報や意見への反応を待つことでスマートフォンを手放せない、SNS依存につながる可能性もある。知人との連絡でも応答の早さが過剰に求められるという問題もある。素早く反応する必要と、反応が遅いことに苛立ちを覚える、双方向の強迫観念だ。いずれもスピード感の問題である。

　気軽な情報発信や意見交換により、伝播のスピードが増していくことに危機感を覚える。情報や意見の内容ではなく、交換すること自体に振り回されては本末転倒だ。内容の正確さや表現方法、そして他者の意見を尊重する時間を持つことが重要になると考える。

(398字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
５段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄